

【別紙 1】

平成 26 年度在宅医療連携拠点事業

## 実施内容報告書

### 1. 事業内容

#### (1) 医療と介護の連携を推進する協議会の設置

①医療と介護の連携に資する各種機関、団体等による連絡協議会の設立準備会の開催及び協議会開催。

- ・平成 26 年 7 月 5 日に平成 26 年 10 月 25 日の協議会設立に向けた第 3 回準備会を開催し、小諸北佐久医療・介護連携推進協議会規約（案）を作成した。
- ・平成 26 年 10 月 25 日に第 1 回小諸北佐久医療・介護連携推進協議会を開催した。協議会の委員は、小諸北佐久医師会 2 名、歯科医師会 1 名、薬剤師会 1 名、小諸市介護保険事業者等連絡会 1 名、小諸北佐久地域の有床の医療機関 5 名・小諸市社会福祉協議会 1 名、小諸市地域包括支援センター 1 名、長野県佐久保健福祉事務所 1 名、長野県訪問看護ステーション連絡協議会 1 名、長野県介護支援専門員協会 1 名、長野県介護福祉士会 1 名、信州訪問リハビリテーションネットワーク 1 名、軽井沢町 1 名、立科町 1 名、小諸市から 1 名、事務局 8 名参加した。  
また、協議会の補足機関として、地域医療専門部会、多職種連携強化検討部会、在宅医療情報共有システム検討部会の 3 専門部会を設置した。
- ・平成 26 年 12 月 2 日に第 2 回協議会を開催した。協議内容は、次第参照。
- ・平成 27 年 2 月 23 日に第 1 回地域医療専門部会を開催し、医療・介護リスト調査票及び在宅医療に関するアンケート調査票の確認作業を協議した。
- ・平成 27 年 3 月 4 日に第 1 回在宅医療情報共有システム検討部会を開催。  
多職種連携における情報共有システムの検討及び ICT システムの活用方法について協議した。
- ・平成 27 年 3 月 24 日に、第 3 回協議会を開催し、平成 26 年度のまとめと来年度に向けた委員間の共通認識を深める目的として、協議会委員でもある長野県佐久保健福祉事務所所長より「在宅医療及び介護の最近の動向」についてミニ講演会を開催した。

(2) 医療及び介護に係る多職種を対象とした在宅医療連携拠点整備に関する研修会等の開催

- ・平成26年6月19日に北佐久歯科医師会と共催で「口腔ケア」をテーマに第1回北佐久口腔ケアネットワーク研修会を開催した。研修会は、北佐久歯科医師会の木村宗雄先生と小諸市高齢福祉課の小山歯科衛生士さんにご講演をしていただきました。参加者は、60名の参加があり、口腔ケアに係る課題などを共有した。
- ・平成26年7月5日に第2回医療・介護連携研修会を開催した。医療法人アスムス理事長の太田秀樹先生に「地域包括ケア時代の在宅医療～多職種協働と地域連携」と題しご講演をしていただいた。参加者は、120名の参加があり、「地域包括ケアの真の意味」「地域包括ケアにかかる住民のニーズ」をふまえた地域包括ケア推進にかかる様々な課題を模索することができた。
- ・平成26年10月25日に小諸北佐久医療・介護連携推進協議会設立総会記念講演会として第3回医療・介護連携研修会を開催した。研修会は、オレンジホームケアクリニックの紅谷浩之先生に「在宅医療推進のための地域における多職種連携」をテーマにご講演をしていただいた。参加者は、110名の参加があり、利用者の視点に立って切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築していくにはどのような課題があるのか、また、その解決のヒントを共有することができた。
- ・平成27年2月21日に北佐久歯科医師会と共催で「摂食・嚥下」をテーマに第2回北佐久口腔ケアネットワーク研修会を開催した。研修会は、「誤嚥性肺炎の予防ー口腔ケアと摂食嚥下リハー」・「魅力的な自分を作る～自分を知ることのメリット～」と題し、藤田保健衛生大学医学部 松尾浩一郎教授とトータルヒューマンサポートセンター代表 心理相談員 斎藤美姫先生によるご講演をしていただきました。参加者は、約230名の参加があり、「摂食・嚥下」に係る課題などを共有した。

(3) 医療と介護の連携を推進するための資源、課題等の調査研究

①各種調査等及び資料作成

- ・小諸北佐久医療・介護連携推進協議会第1回地域医療専門部会にて、医療・介護支援リスト調査票及び在宅医療に関するアンケート調査票の作成を行った。  
今後、小諸北佐久地域の医療・福祉関係者等及び住民に調査する予定。

②在宅医療情報ネットワーク整備に関する調査研究

- ・平成26年1月21日に「ICTシステム（在宅医療情報共有システム）機能説明会」を行った。参加者は、医師を始め医療関係者・福祉関係者が出席し、ICTを活用するにあたっての情報共有の必要性を確認できた。
- ・第1回情報共有システム検討部会において、ICTシステムの活用方法など検討した。来年度にICTシステムを導入予定。